

磐城新聞

（刊夕日二）
定 價 毎 月 十 五 圓
毎 年 一 百 五 十 圓
（ 郵 政 特 准 第 二 〇 七 號 ）
行 社 磐 城 報 社
支 店 平 町 三 丁 目 三 番 五 号
電 話 二 〇 〇 〇

今や青年奮起の秋(五)

磐城信實 大和田豊吉

諸君今日の時代は古の時代の根本問題にも誘がかかり、
それは遠く遠く陪審制度の普及である云々云々、然
るに、時代である

即ち 御承知の如く
（一）帝國臣民たる男子
（二）二十歳以上たる男子
（三）二十歳以上たる男子
（四）二十歳以上たる男子

演説 を行つた其の
際二人の青年は非常な突飛
の演説を演じた

日本 には居られた全
權大使ウツツ氏は大變な
孝行で七十一才になる母

日本 には居られた全
權大使ウツツ氏は大變な
孝行で七十一才になる母

日本 には居られた全
權大使ウツツ氏は大變な
孝行で七十一才になる母

日本 には居られた全
權大使ウツツ氏は大變な
孝行で七十一才になる母

日本 には居られた全
權大使ウツツ氏は大變な
孝行で七十一才になる母

日本 には居られた全
權大使ウツツ氏は大變な
孝行で七十一才になる母

日本 には居られた全
權大使ウツツ氏は大變な
孝行で七十一才になる母

日本 には居られた全
權大使ウツツ氏は大變な
孝行で七十一才になる母

日本 には居られた全
權大使ウツツ氏は大變な
孝行で七十一才になる母

日本 には居られた全
權大使ウツツ氏は大變な
孝行で七十一才になる母

日本 には居られた全
權大使ウツツ氏は大變な
孝行で七十一才になる母

胃一家創立するとは誠のちや。さあ近う進んで
に淺ましき見の様に考へたりやれ
と、奥方は三人を膝近く
に抱き、静かに語つた

「此の度の家の異變につ
いては方々に一方ならぬ苦
しみを感じて居るが、今は
天下騒亂の折柄内だか
ら、おそれについて考へた
ことがあるやうなやうな
ことだ」

「お、その一言を聞いて
妻も安堵致しました」
と奥方は嬉しげに微笑ん
だ

「たゞ、それについて考へた
ことだ」
と清左門の顔を覗いた

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した

「如何にも、奥方様の仰せ
の如く、今内訌を起す
ことだ」
と清左門は、御承知の通り
に嘆息した



平町南町 電話二二九番 上田外科醫院
平町南町 電話四二四番 御料理 魚榮 仕出し
平町南町 電話四二四番 御料理 魚榮 仕出し
平町南町 電話四二四番 御料理 魚榮 仕出し

六六六 胃腸薬
胃腸薬
胃腸薬

情緒豊かな郷土の藝術
皆さんの土 皆さんの水
東北の山河が生んだ
懐かしの俚謡
其他新譜色々倒着致しました。
平町四丁目
會田時計店
電話三六三

平町南町 電話四二四番 御料理 魚榮 仕出し
平町南町 電話四二四番 御料理 魚榮 仕出し
平町南町 電話四二四番 御料理 魚榮 仕出し

女給さん募集
女給 十五才以上 五名
至急募集致シマス御希望ノ御方ハ御
出デ下サイ
（給料等ハ面談ノ上御相談致シマス）
平町三丁目三井呉服店

カフエーホタン
平町三丁目三井呉服店
電話 四六四

診察無料
院長博士 敬白
大谷時計病院
電話一九番

御新益用提灯
陳列致シマシタ
御散歩ガテラ御覽下サイ
四丁目
スガノヤ提灯店
電話七二二
五丁目
マスヤ小帽子店
電話二二〇 呼出

開柳 御一人前
始川 四拾錢 速迅前出
本年も相變らず
御最負の程願ひます
御料理 石川亭
平町南町(電話四三番)

鈴木齒科醫院
平町南町成田山前
診療時間(午後七時ヨリ
但シ急患ハ此限リニアラズ
齒科 鈴木五郎

磐城病院
平町南町本通り
入院隨時(電話二一四番)
内科。外科。婦人科。
小兒科。花柳病科。

